

Cisco CallManager 4.1

製品の入手

Q. Cisco CallManager の発注はいつから可能ですか。

A. 2005 年 2 月 1 日から発注可能になります。

Q. その時点では、Cisco CallManager 4.1 は一般に入手可能ですか。

A. はい。ただし、シスコシステムズは新規の注文のレビューを行う予定であり、このレビュー期間中は Cisco CallManager 4.1 は New Product Hold (NPH) 状態となります。

Q. Cisco CallManager 4.1 を NPH 状態とするのはなぜですか。

A. NPH 状態を設ける最大の理由は、品質を保証するためです。シスコでは、新規 Cisco CallManager のフィーチャリリースの発売を成功させるために、NPH プロセスを使用しています。このプロセスを利用して 4.1 の初期の展開状況を見直すことにより、製品の計画および実装部門によって留意すべき点がないかどうかを監視します。この NPH プロセスにより、Cisco CallManager 4.0 の発売は成功を収めました。この新たなプロセスの効果で、シスコに寄せられるエスカレーションの件数が減り、既知の問題をまとめたリリースノートによってお客様を不安にさせることも少なくなったのです。

NPH プロセスの最大の目標は、他の音声アプリケーション、デバイス、およびゲートウェイに対する Cisco CallManager のインターオペラビリティを確保することです。シスコは、Cisco CallManager と連携動作する主要な製品とのインターオペラビリティテストを完了しています。このテスト対象の製品には、Cisco Unity™ 音声メッセージングシステム、Cisco IP Contact Center (IPCC)、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ソフトウェア、Cisco IOS® ソフトウェアゲートウェイ、IP Phone などが含まれます。さらに、お客様の展開状況がそれぞれに複雑であることを考慮し、シスコでは、ソリューションテストリソースを追加して補足的なインターオペラビリティテストを実施しています。テストの複雑さを考えると、このテストの完了にはさらに 3～4 カ月かかることとなります。このテストが完了するまでの期間、Cisco CallManager は NPH 状態となります。

Q. ソリューションテストが完了するまで Cisco CallManager 4.1 のリリースを遅らせないのはなぜですか。

A. シスコの内部および外部でのテスト、さらに実地試験から得られたデータでは、Cisco CallManager 4.1 の品質がきわめて高いことがすでに証明されています。しかし、実装および展開されている Cisco CallManager の数が増加していることを考慮すると、最高品質を保証できるまでは、新バージョンの Cisco CallManager を出荷することはできません。Cisco CallManager のすべてのフィーチャリリースにはきわめて高い標準（低いバグ発生率）が設定されていますが、シスコはこれからも、さらにバグの数を減らす努力を続けます。Cisco CallManager 4.1 のバグ数は、これまでにリリースされた Cisco CallManager のどのフィーチャリリースよりも低く抑えられています。シスコの多くのお客様は単純な音声ソリューションを使用しており、この場合は、完全なソリューションテストが完了するまで待つ必要はありません。また、Cisco CallManager を社内のラボで独自に認定する企業も多く存在します。Cisco CallManager の一般リリースを遅らせると、社内の認定試験を最初に実施しなければならない企業では、展開が滞ってしまう可能性もあるのです。

Q. 発注から NPH 状態を解除するにはどうすればいいのでしょうか。

A. 発注から NPH 状態を解除するには、通常は次の手順に従います。

- ソフトウェアを発注します。これは、シスコ、販売店、または代理店に対する通常の購入方法によって行えます。また、Cisco CallManager 4.0 に限り、Cisco.com からダウンロードすることもできます。シスコのメンテナンス契約があれば、この契約に基づき、次の URL にある Product Upgrade Tool (PUT) を使用して、無償でご発注いただけます。

<http://www.cisco.com/upgrade>

- NPH状態を解除するためのWebフォーム (<https://www.cisco.com/cgi-bin/Software/FormManager/formgenerator.pl?pid=741&fid=10680>) に必要事項を記入します。フォームには、できるだけ詳しく記入してください。シスコの発注番号 (SO#) または PUT 発注 ID が必要になります。このデータのない発注は処理されません。
- NPH レビュー チームにより、3 営業日以内に注文のレビューが行われます。通常の場合であれば、レビューは 1 営業日中に行われます。
- フォームの送信者に、E メールによる通知が送られます。
- NPH レビュー チームにより、NPH 状態の解除が許可されます。製造部門によって、注文の NPH 状態が実際に解除されます。完全に解除されるまでには、通常 1 ~ 2 営業日かかります。
- NPH 状態が解除されると、通常の受注処理が行われます。
- NPH レビュー チームは、受注に関するエスカレーションを扱うことはできません。個別の発注に関してご質問がある場合は、販売代理店または、担当営業までお問い合わせください。

Q. NPH 状態はいつ解除されるのでしょうか。

A. Cisco CallManager 4.1 の NPH 状態は、2005 年 3 月末頃、ソリューションテストの完了をもって解除される予定です。

製品情報

Q. Cisco CallManager とは何ですか。

A. Cisco CallManager は、シスコのエンタープライズ IP テレフォニー ソリューションにおける、ソフトウェアベースの処理コンポーネントです。Cisco CallManager ソフトウェアは Cisco Architecture for Voice, Video and Integrated Data (AVVID) に対応し、エンタープライズテレフォニー機能をさまざまなパケット テレフォニー ネットワーク デバイス (IP Phone、メディア処理デバイス、Voice over IP [VoIP] ゲートウェイ、マルチメディア アプリケーションなど) にまで拡張します。Cisco CallManager のオープンなテレフォニー API を介して、データ、音声、およびビデオ サービス (ユニファイド メッセージング、マルチメディア会議、共同コンタクトセンター、双方向マルチメディア応答システムなど) と IP テレフォニー ソリューションとの相互動作が可能になります。

Q. Cisco CallManager 4.1 の新機能はどのようなものですか。

A. 新機能の概要は次のとおりです。

- セキュリティの強化
 - より多くのデバイスに対応する暗号機能
 - Cisco IP Phone 7960G および IP Phone 7940G
 - Media Gateway Control Protocol (MGCP) ゲートウェイ
 - Survivable Remote Site Telephony (SRST)
 - HTTPS および Lightweight Directory Access Protocol over Secure Sockets Layer (LDAP over SSL) による、Cisco CallManager のセキュアな管理
 - Certificate Authority Proxy Function (CAPF) による使いやすさの向上
 - 不正通話対策の向上
 - オンネットとオフネットの分類
 - 外部転送制限機能の拡張
 - アドホック会議の廃棄機能の拡張
- Q.SIG の拡張
 - International Organization for Standardization (ISO) 標準に適合
 - パス置換機能

- コールの完了 — Completion of Calls to Busy Subscriber (CCBS)、Call Completion on No Reply (CCNR)
- 再ルーティングによる着信転送
- 名前アラート
- European Computer Manufacturers Association (ECMA; 欧州電子計算機工業会) および ETSI 標準への準拠文書
- H.323 Annex M1 (Q.SIG over H.323) のサポート
- Q.SIG 認証
- 米国防総省による要件の準拠
 - BRI (基本インターフェイス) エンドポイントを Skinny Client Control Protocol (SCCP) エンドポイントとして登録
 - V.150.1 モデム リレーのサポート
 - 新たな Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) レベル — エグゼクティブ オーバーライド
 - MLPP での Dual Tone MultiFrequency (DTMF) 番号のサポート (A、B、C、および D)
 - 信号情報エレメントの使用による MLPP 呼び出し音およびアナウンスメント
 - ロケーションを基準としたクラスタ間およびクラスタ内 MLPP
 - MLPP での User-to-User Information Element (UUIE) フィールドの使用
 - BRI ステーションのプリエンブション
- コール カバレッジ機能の拡張
 - Time-of-Day (ToD) によるルーティングと抑制 (パーティションを基準とする)
 - 内部および外部のコールに対する異なるカバレッジ設定
 - ハント リストに Call Forward Busy および Call Forward No Answer を設定可能
 - 特定の個人の電話番号 (オンネットまたはオフネット) に対してハント リストを転送可能
 - 管理機能の拡張
 - 複数のライン グループに対するディレクトリ番号 (複数のルート グループに対するゲートウェイ)
 - 個々のゲートウェイまたはトランクに対し、そのゲートウェイまたはトランクが外部か内部かを個別に割り当て可能
 - ルート リストとハント リストの分離
 - コールがハント リスト内に留まる最長期間を指定するパラメータ
 - ゲートウェイまたはルート パターンが外部か内部かを指定可能
- パーティションごとに ToD を設定可能
 - パーティションにタイム スケジュールを割り当て、このパーティションの利用を特定の時間帯、曜日、または月日に限定
 - ユーザがパーティションに割り当てることができるすべてのもの (着信コール、発信コール、Forced Authorization Code [FAC] など) に対し、ToD の設定が可能
- FAC および Client Matter Code (CMC) のサポート
- コール表示の抑制 — 2 台の電話機間で、発信者名、着信者名、または電話番号を非表示
- H.323 T.38 ファックス リレーのサポート
- H.323 FastStart のサポート (着信および発信)
- MGCP BRI および ETSI BRI basic-net3 のサポート (ユーザ側のみ)
- Cisco Unity によるボイス メールのプロビジョニング管理機能の拡張

- Computer Telephony Integration (CTI) 機能の拡張
 - 下位互換性 — Java Telephony Application Programming Interface (JTAPI) および Telephony Application Programming Interface (TAPI) の新旧リリース間の互換性を維持します。これは、下位互換性に影響を与える新機能 (FAC/CMC、Q.SIG パス置換、Q.SIG コールバック) がクラスタ内で使用されないかぎりは保証されます。
 - FAC および CMC のサポート
 - Q.SIG パス置換およびコールバックのサポート
 - デバイス検証の無効化 — アプリケーションは、自分が管理するデバイス リストにデバイスを指定せずに、大量のデバイスをモニタまたは制御できます。
 - JTAPI Device State Server — 個々の回線をモニタすることなく、CTI デバイスのステータス (ビジー、アイドルなど) を通知できます。
- Bulk Administration Tool (BAT) 機能の拡張
 - FAC および CMC のサポート
 - FAC および CMC による一括挿入、一括更新、および一括削除機能
 - CAPF の設定
 - Label Switch Controller (LSC; ラベル スイッチ コントローラ) の一括アップグレードおよび一括削除機能
 - 電話テンプレートの CAPF フィールド
 - 重複した IP サービスの削除
 - 割り当てられていないディレクトリ番号の削除
 - Cisco CallManager 4.1 の新機能に対応
 - コール カバレッジ
 - ビデオ
 - 接客業向け機能 (ホスピタリティ)
 - MLPPP DoD 拡張
 - セキュリティ
 - Q.SIG 名前アラート
 - トランク間転送、および会議の廃棄機能
 - CTI スーパー プロバイダー
 - Cisco CallManager Attendant Console の拡張
 - Cisco CallManager Attendant Console のアクセス性の向上により、視覚障害のある方も使用可能
 - Cisco CallManager Attendant Console は JAWS (スクリーン リーダー ソフトウェア) と連携して動作
 - ショートカット キー機能による簡単なナビゲート。マウスを使用せずに Cisco CallManager Attendant Console の操作が可能
 - 特定のイベントの発生をユーザに通知する警報音
 - 転送の試行、打診転送、またはコンファレンス コールを行った場合、ダイヤル パッドを表示した状態でコールを保留可能
 - 保守性の強化
 - HTTPS のサポートによるセキュアなトラブルシューティング
 - Service Activation ページおよび Control Center ページの新サービスの追加

- Cisco Dial Number Analyzer は非表示
- Cisco CAPF の追加
- Dialed Number Analyzer の強化

パッケージング

Q. Cisco CallManager は Cisco.com からダウンロードできますか。

A.すでに Cisco CallManager 4.0 を使用しているユーザであれば、次の URL からアップグレードアプリケーションをダウンロードできます。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/callmgr-41>

Q. Cisco.com にアップロードされている Cisco CallManager アップグレード パッケージに対しては、NPH プロセスはどのように適用されますか。

A. この Web ダウンロードの場合も、NPH フォームを送信する必要があります。NPH フォームを送信すると、アップグレードを入手するための Special File Access ページに切り替わります。

Q. Cisco CallManager 4.1 はどのようにパッケージされていますか。

A. Cisco CallManager 4.1 は、CD-ROM バンドルとして購入することもできます。

Q. Cisco CallManager 4.1 へのアップグレード価格はいくらでしょうか。

A. Software Application Support plus Upgrades (SASU) 契約に加入し、現在使用中の Cisco CallManager 3.2、3.3、または 4.0 から Cisco CallManager 4.1 へのアップグレードをご希望のお客様は、次の URL にある PUT ツールを使用して、無償アップグレードをご発注いただけます。

<http://www.cisco.com/upgrade>

現在 SASU 契約に加入されていないお客様は、表 1 の製品番号を確認のうえ、ご発注ください。

表 1 Cisco CallManager アップグレードの発注情報

製品番号	説明
CM4.0-4.1-K9-UPG=	Cisco CallManager 4.0 から 4.1 へのアップグレード
CM4.1-U-K9-7815SE=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、Cisco MCS-7815 Media Convergence Server、100 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-7815=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、Cisco MCS-7815、300 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-7825=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、Cisco MCS-7825、1000 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-7835=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、Cisco MCS-7835、2500 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-7845=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、Cisco MCS-7845、5000 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-DL320=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、HP DL320、1000 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-DL380=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、HP DL380、CPU 1 基、2500 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-DL380D=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、HP DL380、CPU 2 基、5000 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-X306=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、IBM xSeries 306、1000 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-X345=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、IBM xSeries 345、CPU 1 基、2500 サーバユーザ ライセンス
CM4.1-U-K9-X345D=	Cisco CallManager 3.3 から 4.1 へのアップグレード、IBM xSeries 345、CPU 2 基、5000 サーバユーザ ライセンス

Q. Cisco CallManager 4.1 へのアップグレードに関する詳細情報はどのようにして入手できますか。

A. 既存の Cisco CallManager サーバを置き換える場合、Cisco CallManager 4.1 ソフトウェア購入に関する詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/go/swonly>

Q. SASU を保有している場合、アップグレード価格はいくらでしょうか。

A. SASU を保有しているお客様であれば、アップグレードは無償です。この場合は、PUT ツールを使用することで、Cisco CallManager 4.1 移行ソフトウェアを無償でご発注いただけます。このツールは次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/upgrade>

Q. Cisco CallManager 4.1 のリリースにより、Media Convergence Server (MCS) の価格は変更されますか。

A. いいえ、変更されません。Cisco CallManager 4.1 が付属する新規 MCS は、前バージョンの Cisco CallManager の場合と同じ価格です。

Q. Cisco CallManager 4.1 にはどのサーバが対応していますか。

A. Cisco CallManager 4.1 に対応するサーバは次のとおりです。

- Cisco Media Convergence Server 7815 (MCS-7815-1000)
- Cisco Media Convergence Server 7815I (MCS-7815I-2.0-EVV1)
- Cisco Media Convergence Server 7815I (MCS-7815I-3.0-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7815-I1 (MCS-7815-I1-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7825 (MCS-7825-1133)
- Cisco Media Convergence Server 7825 (MCS-7825-800)
- Cisco Media Convergence Server 7825H (MCS-7825H-2.2-EVV1)
- Cisco Media Convergence Server 7825H (MCS-7825H-3.0-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7825-H1 (MCS-7825-H1-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7825-I1 (MCS-7825-I1-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7825I (MCS-7825I-3.0-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7835 (MCS-7835)
- Cisco Media Convergence Server 7835 (MCS-7835-1000)
- Cisco Media Convergence Server 7835 (MCS-7835-1266)
- Cisco Media Convergence Server 7835H (MCS-7835H-2.4-EVV1)
- Cisco Media Convergence Server 7835H (MCS-7835H-3.0-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7835-H1 (MCS-7835-H1-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7835-I1 (MCS-7835-I1-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7835I (MCS-7835I-2.4-EVV1)
- Cisco Media Convergence Server 7845 (MCS-7845-1400)
- Cisco Media Convergence Server 7845H (MCS-7845H-2.4-EVV1)
- Cisco Media Convergence Server 7845H (MCS-7845H-3.0-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7845-H1 (MCS-7845-H1-IPC1)
- Cisco Media Convergence Server 7845-I1 (MCS-7845-I1-IPC1)
- HP DL320*

- HP DL380/1CPU*
- HP DL380/2CPU*
- IBM x306*
- IBM x330 1.2 GHz のみ *
- IBM x342*
- IBM x345/1CPU*
- IBM x345/2CPU*
- IBM x346/1CPU*
- IBM x346/2CPU*

* 詳細については、次の URL を参照してください。
<http://www.cisco.com/go/swonly>

Q. Cisco CallManager 4.1 には、どのサーバモデルが対応していますか。

A. 対応するサーバについては、表 2 を参照してください。詳細については、各サーバモデルの説明を参照してください。

表 2 Cisco CallManager 4.1 対応のサーバモデル

サーバモデル	製品番号	電話の台数
HP DL320-G2	CM4.1-K9-DL320=	1000
HP DL380-G3 (CPU 1 基)	CM4.1-K9-DL380=	2500
HP DL380-G3 (CPU 2 基)	CM4.1-K9-DL380D=	5000
IBM x306	CM4.1-K9-X306=	1000
IBM x345 (CPU 1 基)	CM4.1-K9-X345=	2500
IBM x345 (CPU 2 基)	CM4.1-K9-X345D=	5000
IBM x346 (CPU 1 基)	CM4.1-K9-X346=	2500
IBM x346 (CPU 2 基)	CM4.1-K9-X346D=	5000
Cisco Media Convergence Server (MCS 7825H-3000、MCS 7825I-3000、Cisco MCS-7825-H1、Cisco MCS-7825-I1)	CM4.1-K9-7825=	1000
Cisco Media Convergence Server (MCS 7835H-3000、または MCS 7835I-3000、Cisco MCS-7835-H1、Cisco MCS-7835-I1)	CM4.1-K9-7835=	2500
Cisco Media Convergence Server (MCS 7845H-3000、Cisco MCS-7845-H1)	CM4.1-K9-7845=	5000
Cisco Media Convergence Server (MCS 7845H-3000、Cisco-7845-H1)	LIC-CCM4.X-2500=	2500 (追加)、7500 (合計)

Q. Cisco CallManager 4.1 はサードパーティ製サーバでもサポートされますか。

A. はい、サポートされます。Cisco CallManager 4.1 をサポートするサードパーティ製サーバの一覧については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/go/swonly>

Q. 現在インストールしているサーバが Cisco CallManager 4.1 に対応していない場合、Cisco CallManager 4.1 を実行するためにサーバをアップグレードするにはどのようにすればよいのでしょうか。

A. 次の URL から、サーバアップグレードプログラムを取得してください。

<http://www.cisco.com/go/swonly>

Q. Cisco CallManager は CD および DVD の両方で提供されているのでしょうか。

A. Cisco CallManager 4.1 は、CD のみの形態で提供されています。新たなモデル向けのオペレーティングシステムは DVD 版も用意されていますが、Cisco CallManager は CD 版のみの提供となります。

Q. 現在使用中の Cisco CallManager 4.0 を Cisco CallManager 4.1 にアップグレードすることはできますか。

A. 4.0 から 4.1 への直接アップグレードはサポートされています。

Q. 現在使用中の Cisco CallManager 3.3 を Cisco CallManager 4.1 にアップグレードすることはできますか。

A. 3.3 から 4.1 への直接アップグレードはサポートされています。

Q. 現在使用中の Cisco CallManager 3.2 またはそれ以前のバージョンを Cisco CallManager 4.1 にアップグレードすることはできますか。

A. いいえ、できません。この場合は、間接的なアップグレードを行う必要があります。この場合のアップグレード手順については、アップグレードの説明を参照してください。

機能

Cisco CallManager Attendant Console

Q. Cisco CallManager Attendant Console ではどのような機能拡張が行われていますか。

A. Cisco CallManager Attendant Console の拡張機能は次のとおりです。

- アクセス性の向上により、視覚障害のある方も Cisco CallManager Attendant Console を使用可能
- JAWS (スクリーンリーダーソフトウェア) と連携して動作
- ショートカット キー機能による簡単なナビゲート。マウスを使用せずに Cisco CallManager Attendant Console の操作が可能
- 特定のイベントの発生をユーザに通知する警報音
- 転送の試行、打診転送、またはコンファレンス コールを行った場合、ダイヤルパッドを表示したままコールを保留可能

Q. Cisco CallManager Attendant Console のスクリーンリード機能とはどのようなものですか。

A. スクリーンリーダーソフトウェア (JAWS) は、個別にインストールする必要があります。このソフトウェアは、フォーカスが当たっているコンポーネントの情報を読み上げます。情報の読み上げは、フォーカスが移動した時点で行われます。特定のホットキーを押下することで、必要な情報を取得できます。

Q. どのようなショートカット キーが用意されていますか。

A. Cisco CallManager Attendant Console で利用可能なショートカット キーは次のとおりです。

- Ctrl + F6 — ウィンドウ間を移動
- スペースバー — ボタンを有効化
- タブ — 特定のウィンドウ内のコンポーネント間を移動。タブを使用してもフォーカスが移動しない場合、または 1 つのコンポーネント内を周回している場合は、Ctrl + タブを使用します (表に当たっているフォーカスを、同一ウィンドウ内の別のコンポーネントに移動させたい場合など)。
- Ctrl + Shift + B — Broadcast Calls ウィンドウに移動
- Ctrl + Shift + D — Directory ウィンドウに移動
- Ctrl + Shift + S — Speed Dials ウィンドウに移動

- Ctrl + Shift + P — Parked Calls ウィンドウに移動
- Ctrl + Shift + L — Call Details ウィンドウに移動
- Alt + L — Last Name フィールドに移動
- Alt + F — First Name フィールドに移動
- Alt + N — Number フィールドに移動
- Alt + C — Department コンボ ボックスに移動
- Alt + T — Directory テーブルに移動

Q. Cisco CallManager Attendant Console にはどのような警報音が用意されていますか。

A. Cisco CallManager Attendant Console の警報音は次のとおりです。

- コールの着信
- 新規のブロードキャスト コール
- コールの切断
- コールの保留
- コールのパーク

また、Cisco CallManager Attendant Console では、以下のアイコンによって保留状態を示します。

- 黄色に変化する保留コール アイコン
- 赤色に変化する保留コール アイコン

BAT の拡張

Q. Cisco CallManager 4.1 の BAT では、どのような機能拡張が行われていますか。

A. Cisco CallManager 4.1 では、BAT は FAC および CMC をサポートします。また、セキュリティ設定ツールである CAPF、重複している IP サービスを削除するための特殊オプション、および割り当てのないディレクトリ番号を削除するための特殊オプションが用意されています。

Q. BAT は FAC および CMC をサポートしますか。

A. はい。BAT は FAC の一括追加、一括修正、一括削除、および CMC の一括追加、一括修正、一括削除をサポートします。また、CSV ファイルを作成するための BAT.xlt もサポートされています。

Q. BAT には、システム管理者が多数の電話機に対して一括で証明書またはセキュリティ ポリシーを適用するための拡張機能がありますか。

A. BAT は、ローカルで有意となる証明書の一括アップグレードまたは一括削除をサポートしています。BAT の電話テンプレートには、CAPF が使用する各フィールドが追加されました。

Q. BAT は、新たなコール カバレッジ機能にどのように対応していますか。

A. BAT テンプレートは、新たな内部および外部 Call Forward フィールドに対応するようになりました。

Q. BAT は、ビデオ拡張、コール表示抑制、DoD 拡張、セキュリティ、Q.SIG の名前アラート、トランク間転送などの新機能をサポートしますか。

A. はい。BAT の各機能は、これらすべての機能に対応するように拡張されています。

コール カバレッジの拡張

Q. コール カバレッジとは何ですか。

A. コール カバレッジ機能とは、システム管理者が個人またはグループに対するカバレッジ パスを作成するための一連のツールです。この機能を使用すると、各種分散アルゴリズムにより、特定の電話番号グループへ1つのコールを順次転送できます。これにより、コールへの応答が、適切なグループまたは個人によって確実に行われます。

Q. 発信元に応じて異なるカバレッジ パスを確立することはできますか。

A. はい。コールの発信元が内部か外部かに応じて、異なるカバレッジ パスにコールをルーティングできます。

Q. 時間帯に応じて異なるカバレッジ パスを確立することはできますか。

A. はい。ToD 機能を使用して、パーティションにタイム スケジュールを割り当てることで、時間帯に応じて異なるパスにコールをルーティングできます。

Q. カバレッジ パス内にコールに対する応答者がいない場合はどうなりますか。

A. システム管理者は、個人の転送先を割り当てることができます。この転送先には、ボイス メール、携帯電話、または家庭の電話を設定できます。転送先はディレクトリ番号に基づいて割り当てることができます。このため、特定のカバレッジ パスに送られたコールは、最初に呼び出された電話番号に基づいて個人の転送先に転送することができます。

Q. コールがカバレッジ パス内に留まる期間を制限することはできますか。

A. はい。システム管理者は、1つのコールがカバレッジ パスまたはハント リスト内に留まる最長期間を秒単位で指定できます。

Q. Route Pattern ページおよび Hunt Pilot ページの管理機能に対して、機能拡張は行われていますか。

A. はい。Route Pattern および Hunt Pilot ページは、別々のページとなっています。Hunt Pilot ページについては、ルート パターンに関する固有情報が削除されるとともに、ハント リストへの Call Forward No Answer/Call Forward Busy の設定および最大ハント タイマーの設定など、ハント パイロットに関する情報が追加されています。

Q. Directory Number ページの forward-no-coverage パラメータとは何ですか。

A. システム管理者はこのパラメータを使用することで、特定のディレクトリ番号に対して個人の転送先を割り当てることができます。次のような例を考えてみましょう。ディレクトリ番号 1000 に対し、forward-no-coverage を 5551212 に、また、forward no answer をハント リストのハント パイロットにそれぞれ設定したとします。この場合、ディレクトリ番号 1000 宛てに発信されたコールは、ring no answer で指定したタイムアウト値が経過すると、ハント リストに送られます。ハント リスト内でも応答がない場合は、コールは forward-no-coverage で指定した転送先 (555-1212) に転送されます。

Q. ライン グループに所属している場合、電話機のいずれかのボタンを押すことで、このライン グループから一時的に自分の電話機を除外することはできますか。

A. いいえ、できません。現時点では、Cisco CallManager 4.1 はライン グループでの一時的な着信拒否機能（疑似通話中機能）をサポートしていません。

Q. 1つのディレクトリ番号を複数のライン グループに割り当てることができますか。

A. はい、できます。1つのディレクトリ番号を、複数のライン グループに割り当てることが可能です。

コール表示抑制

Q. コール表示抑制機能はどのように使用するのでしょうか。

A. コール表示抑制機能を使用すると、接客業などの企業において、特定の電話機間で発信者名、発信者番号、着信者名、着信者番号の表示を効果的に制限することができます。この場合、これらの情報は他の電話機には通常どおり表示されます。たとえばホテルでは、客室内からフロントまたはルームサービス宛てにかかる電話の発信者名および発信者番号は、表示されたほうが便利です。一方、客室間の通話では、セキュリティ上の理由からこれらを非表示にする必要があります。

Q. この機能の使用例にはどのようなものがありますか。

A. 以下に、この機能の使用例を示します。

- 客室間のコール情報はブロックします。
- 客室からフロントデスクへのコール情報は表示します。
- これにより、客室からフロントデスクに電話がかかるとコール情報が表示されますが、このコールをフロントデスクが別の客室に転送した場合は、コール情報はブロックされます。
- PSTN（公衆交換電話網）からの電話がフロントデスクにかかり、PSTN 側で発信者情報がブロックされている場合は、Cisco CallManager はこの情報表示が抑制された状態を維持します。

CTI の拡張

Q. Cisco CallManager 4.1 の CTI ではどのような機能拡張が行われていますか。

A. Cisco CallManager 4.1 の CTI の拡張機能は次のとおりです。

- 下位互換性 — JTAPI および TSP の新旧リリース間の互換性を維持します。これは、下位互換性に影響を与える新機能（FAC/CMC、Q.SIG パス置換、Q.SIG コールバック）がクラスタ内で使用されないかぎり保証されます。
- FAC および CMC のサポート
- Q.SIG パス置換およびコールバックのサポート
- デバイス検証の無効化 — アプリケーションは、自分が管理するデバイス リストにデバイスを指定せずに、大量のデバイスをモニタまたは制御できます。
- JTAPI Device State Server — 個々の回線をモニタすることなく、CTI デバイスの状態（ビジー、アイドルなど）を通知できます。

Q. CTI では FAC および CMC をどのように処理しますか。

A. CTI は、FAC または CMC の入力を促す呼び出し音を発生させるイベントをアプリケーションに配信し、アプリケーションからの FAC または CMC を受け取ります。

Q. スーパープロバイダー（デバイス検証の無効機能）とは何ですか。

A. スーパープロバイダーは、TAPI および JTAPI アプリケーションにおいて、クラスタ内の任意のデバイスを動的に制御およびモニタするためのメカニズムです。この機能を使用すると、一定期間だけ特定のデバイスセットを制御し、この期間が経過したあとはデバイスセットを解放するというアプリケーション要件に対応することができます。

Q. JTAPI Device State Server とは何ですか。

A. JTAPI Device State Server は、クラスタ内のデバイスの状態を表示します。この負荷の軽い機能を利用することで、CTI アプリケーションではコールモニタ機能をエンドポイントのアドレスに追加することなく、エンドポイントの状態を参照できます。

Q. Device State Server では、どのような状態がサポートされますか。

A. Device State Server がサポートする状態は次のとおりです。

- IDLE — 端末上にアクティブなコールが存在しません。
- ACTIVE — 端末上に、アクティブな発信または着信コールが存在します。
- ALERTING — 端末上にアクティブ コールは存在しませんが、無応答の着信コールが存在します。
- HELD — この端末上のすべてのコールが保留されています。

Dialed Number Analyzer の拡張

Q. Dialed Number Analyzer (DNA) ツールでは、Cisco CallManager のどの新機能がサポートされますか。

A. DNA によってサポートされる新機能は次のとおりです。

- コール カバレッジ
- H.323 FastStart
- 接客業向け機能
- トランク間転送
- FAC および CMC
- BRI
- MLPP DoD
- Q.SIG
- ToD

DoD 要件

Q. DoD 向けにはどのような機能が用意されていますか。

A. DoD 向けに用意されている機能は次のとおりです。

- BRI エンドポイントを SCCP エンドポイントとして登録
- V.150.1 モデム リレーのサポート
- 新たな MLPP レベル — エグゼクティブ オーバーライド
- MLPP での DTMF 番号のサポート (A、B、C、および D)
- 信号情報エレメントの使用による MLPP 呼び出し音およびアナウンスメント
- ロケーションを基準としたクラスタ間およびクラスタ内 MLPP
- MLPP での UUIE フィールドの使用
- BRI ステーションのプリエンブション

ディレクトリ

Q. Cisco CallManager ディレクトリではどのような機能拡張が行われていますか。

A. Cisco CallManager のディレクトリは、Cisco CallManager 4.1 に付属する Cisco CallManager DC Directory (DCD) v3.0.02 により、SSL に対応するようになりました。このため、ディレクトリ間でユーザーデータ (パスワード、個人 ID 番号 [PIN] など) をセキュアに転送できます。

Q. シスコのすべての音声アプリケーションはセキュリティ保護されていますか。

A. いいえ。SSL に対応しているアプリケーションは次のとおりです。

- BAT
- CDR Analysis and Reporting (CAR) ツール
- Cisco CallManager Admin User ページ
- Cisco CallManager Admin IP Manager Assistant ページ
- Cisco CallManager User ページおよび IP Phone Options ページ
- Cisco Conference Connection
- CTI Manager

- Extension Mobility
- Cisco IP Manager Assistant (IPMA)
- Multilevel Administration (MLA)

以下のアプリケーションは、セキュリティ保護されていません。

- Cisco CallManager Attendant Console
- Cisco Emergency Responder
- Cisco Carrier Routing System (CRS)
- ディレクトリ統合 API
- 短縮ダイヤル
- IP Phone サービス
- Cisco Personal Assistant
- Personal Address Book (PAB)
- Cisco IP SoftPhone
- Web Dialer

FAC および CMC

Q. Forced Authorization Code (FAC) とは何ですか。

A. FAC を使用すると、コールを転送する前に、ユーザに対して有効な許可コードの入力を義務付けることができます。この許可コードは、ルートパターンで指定した許可レベルかそれ以上のレベルなければなりません。FAC 情報は、Cisco CallManager の Call Detail Record (CDR) データベースに書き込まれます。

Q. Client Matter Code (CMC) とは何ですか。

A. CMC を使用すると、コールを転送する前に、ユーザに対して CMC 情報の入力を義務付けることができます。CMC 情報とは、ユーザが発信したコールにアカウント コードまたは課金コードを割り当てるための情報です。CMC 情報は、Cisco CallManager の CDR データベースに書き込まれます。

Q. システム管理者は FAC および CMC をどのように設定するのでしょうか。

A. システム管理者は **Route Pattern Configuration** ページのチェックボックスを使用して、ルートパターンをダイヤルするすべてのユーザに対し、FAC または CMC の入力を義務付けることができます。

Q. FAC と CMC はどのように入力するのでしょうか。

A. これらのデータは、Cisco CallManager の **Administration** ページで入力できます。また、BAT でも FAC および CMC の追加、削除、および変更が行えます。

Q. FAC または CMC の最大サイズはいくつですか。

A. 最大サイズは 16 桁です。

Q. FAC の許可レベルとはどのようなものですか。

A. 許可レベルは、特定の相手への通話を許可または拒否するためのメカニズムで、FAC で指定します。FAC の許可レベルは、ルートパターンまたは相手の FAC と一致するか、またはそれ以上のレベルである必要があります。そうでないと、正しい FAC を入力しても、このコールは転送されません。

Q. FAC および CMC では、オーバーラップ送信はサポートされますか。

A. いいえ。Cisco CallManager 4.1 の FAC および CMC は、オーバーラップ送信機能には対応していません。

Q. CTI アプリケーションは FAC および CMC をサポートしますか。

A. はい。CTI では新たに、ユーザに FAC または CMC の入力を促すための呼び出し音を発生させる機能が拡張されています。

Q. ユーザに FAC および CMC の両方の入力を義務付けることはできますか。

A. はい、できます。ルート パターンに対して FAC と CMC の両方を有効にすると、ユーザは電話番号の入力後、呼び出し音のあとに FAC を入力し、さらに呼び出し音のあとに CMC を入力しなければなりません。

H.323 FastStart

Q. H.323 FastStart とは何ですか。

A. H.323 FastStart とは、通常の H.323 接続手順の代わりに使用できる機能です。この機能では、12 回ではなく 2 回のメッセージ交換を行ったあとに論理チャネルをオープンするので、メディア接続を高速に確立できます。

Q. H.323 FastStart を使用すると、音声カットスルー時間はどのくらい短縮されるのでしょうか。

A. メディアのカットスルー遅延は、従来の H.323 を使用した場合の一方方向 WAN 遅延に比べ、10 倍も短縮されます。

Q. H.323 FastStart を実装する前に、展開に関して特に検討すべき点がありますか。

A. はい。発信 FastStart では、ハードウェアによる Media Termination Point (MTP) を使用する必要があります。H.323 FastStart を利用するには、事前にこのような MTP を計画および実装しておく必要があります。

H.323 T.38 ファックス転送

Q. T.38 とは何ですか。

A. T.38 は、IP を使用してファックスをより効率的に転送するための ITU-T 標準です。これは、特にファックス向けに設計されたコーデックと考えることができます。

Q. T.38 はなぜ重要なのでしょうか。

A. T.38 によるファックス転送は、G.711 などのコーデックによって通常の音声コールを使用するよりも、高い信頼性を確保できます。一部のシスコ製品は Cisco Fax Relay に対応していません。この機能は業界標準です。

Q. Cisco CallManager では、MGCP、SCCP、Session Initiation Protocol (SIP) などの他のプロトコルとともに T.38 を使用することはできますか。

A. いいえ、できません。Cisco CallManager 4.1 は H.323 T.38 ファックス転送のみをサポートします。

MGCP BRI

Q. MGCP BRI はどのような目的でサポートされているのでしょうか。

A. この機能の目的は、PRI (1 次群速度インターフェイス) を実装するほどのコストはかけられない小規模オフィスにおいて、小規模でコスト効率の高い ISDN 接続を Cisco CallManager と PSTN との間に確立することです。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、BRI のどのタイプが MGCP に対応するのでしょうか。

A. サポートされるタイプは、ETSI BRI basic-net3 (ユーザ側のみ) だけです。

Q. Cisco CallManager では、H.323 BRI の他の BRI スイッチ タイプもサポートされますか。

A. はい、サポートされます。

Q. MGCP BRI は、H.323 BRI と比べて何が優れているのでしょうか。

A. MGCP BRI では、ゲートウェイ インターフェイスを集中管理することができ、より少ない数のメッセージ交換でコールを確立できます。また、MGCP BRI を使用すると、Cisco CallManager に障害が発生した場合にコールが保存されます。

Q.SIG

Q. Q.SIG をサポートする他の PBX と Cisco CallManager とのインターオペラビリティに関する詳細は、どのように入手することができますか。

A. <http://www.cisco.com/go/interoperability> のインターオペラビリティポータルを利用してください。ここでは、PBX のタイプを選択し、そのタイプに応じたインターオペラビリティに関する解説を参照できます。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、どのような方法の着信転送がサポートされていますか。

A. Cisco CallManager 4.0 では、転送スイッチによる着信転送がサポートされます。また、Cisco CallManager 4.1 では、新たに再ルーティングによる着信転送がサポートされています。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、どのタイプの着信転送がサポートされていますか。

A. サポートされている着信転送のタイプは次のとおりです。

- Call Forward Unconditional (CFU; 無条件転送) および Call Forward All (CFA; 全転送)
- Call Forward on Busy (CFB; 通話時転送)
- Call Forward No Reply (CFNR; 無応答時転送)

Q. Cisco CallManager 4.1 では、再ルーティングによる通話転送はサポートされていますか。

A. いいえ。Cisco CallManager 4.1 では、再ルーティングによる通話転送はサポートされていません。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、Q.SIG Message Waiting Indication (MWI) はサポートされていますか。

A. はい。Q.SIG MWI は Cisco CallManager 4.0 からサポートされています。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、Q.SIG パス置換はサポートされていますか。

A. はい。パス置換は Cisco CallManager 4.1 からサポートされるようになりました。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、Q.SIG のコール ID 制限はサポートされていますか。

A. はい。システム管理者は Cisco CallManager のコール ID 抑制機能を使用することで、CallManager と着信先との間でやり取りされる発信者 ID 情報の表示方法を制御できます。この抑制機能は、コールの両端で設定できます。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、Q.SIG コールバック機能はサポートされていますか。

A. はい。Q.SIG コールバック機能は Cisco CallManager 4.1 からサポートされるようになりました。

Q. Cisco CallManager では、IP を使用する Cisco CallManager クラスタ間に対し、PRI トランクを使用する他社製 PBX 間で提供するものと同一のフィーチャセットを提供しますか。

A. はい。Cisco CallManager 4.1 の H.323 Annex M1 機能は、クラスタ間トランクで 4.1 Q.SIG のすべての機能 (ID サービス、着信転送、通話転送、コール完了、パス置換、MWI) を実現します。この機能は、Information and Communications Technology (ICT) ごとに設定できます。

Q. 他社製 PBX を使用する場合でも H.323 Annex M1 はサポートされますか。

A. いいえ。現時点ではサポートされません。

セキュリティ

Q. Cisco CallManager 4.1 の暗号機能には、どの電話モデルが対応しますか。

A. Cisco CallManager 4.1 の暗号機能は、Cisco IP Phone 7940G、IP Phone 7960G、および IP Phone 7970G によってサポートされます。

Q. Cisco CallManager 4.1 の暗号機能には、どのゲートウェイが対応しますか。

A. MGCP ゲートウェイ (Cisco 2600XM、Cisco 3660 および Cisco 2691 マルチサービスプラットフォーム、Cisco 3725 および Cisco 3745 マルチサービスアクセスルータ、Cisco VG224 Analog Phone Gateway) の Secure Real-time Transport Protocol (SRTP) による Advanced Encryption Standard 128 (AES-128) がサポートされます。

Q. SRST はセキュリティをサポートしますか。

A. はい。Cisco CallManager 4.1 以降、SRST はセキュリティをサポートするようになっています。

Q. Cisco CallManager 4.0 では、なぜ Cisco CallManager Administration に HTTPS が使用されているのでしょうか。

A. これは、Cisco CallManager でセキュアな管理を実現し、パスワードを暗号化して転送できるようにするためです。

Q. ほかに HTTPS を使用しているアプリケーションはありますか。

A. HTTPS を使用するアプリケーションは次のとおりです。

- CCMAAdmin
- CCMService
- CCMUser
- Real-Time Monitoring Tool (RTMT) レポート
- CCMTraceAnalysis
- CCMServiceTraceCollection ツール
- CDR Analysis and Reporting ツール

Q. Cisco CallManager ディレクトリで SSL がサポートされるようになったのはなぜですか。

A. Cisco CallManager からディレクトリへ、パスワードをセキュアに転送できるようにするためです。

Q. SSL はサードパーティ製ディレクトリでもサポートされていますか。

A. SSL をサポートするサードパーティ製ディレクトリは次のとおりです。

- AD 2000
- AD 2003
- Netscape、Sun ONE、iPlanet

Q. SSL はどのようなアプリケーションによってサポートされますか。

A. SSL をサポートするアプリケーションは次のとおりです。

- BAT
- CAR
- Cisco CallManager Admin User ページ
- Cisco CallManager Admin IPMA ページ
- Cisco CallManager User ページおよび IP Phone Options ページ
- Cisco Conference Connection
- CTI Manager
- Extension Mobility
- IPMA
- MLA

Q. Cisco CallManager 4.1 では、CAPF はより使いやすくなっていますか。

A. はい。Cisco CallManager 4.1 では、CAPF は Windows NT サービスとして実行され、Cisco CallManager Administration によってネイティブに管理されます。

Q. Cisco CallManager 4.1 では、トランク間転送をブロックすることはできますか。

A. はい。トランク間転送は Cisco CallManager 4.1 からサポートされるようになりました。

Q. トランク間転送で改善された機能は何ですか。

A. システム管理者は個々のトランクまたはゲートウェイに対し、内部か外部かを個別に選択できるようになりました。

Q. システム管理者は、会議の開催者が接続を切断したときに、アドホック会議を強制的に廃棄できますか。

A. はい。システム管理者はグローバルシステムパラメータ `drop ad hoc conference` を使用することで、会議の開催者の切断時にアドホック会議コールを強制的に廃棄できます。また、内部の通話者が1人でも会議コールに参加しているかぎり、会議コールの接続を維持するオプションもあります。

サービス性の拡張

Q. Cisco CallManager の Serviceability ページは、HTTPS に対応していますか。

A. はい。Cisco CallManager のすべての Serviceability ページでは HTTPS がサポートされるようになったため、トラブルシューティングをセキュアに実行できます。

ToD

Q. Cisco CallManager 4.1 の ToD 機能とはどのようなものですか。

A. Cisco CallManager 4.1 の ToD 機能を使用すると、以下のことが可能になります。

- 時間帯に応じて異なる宛先にコールをルーティング
- コール検索スペースにより、コールを発信可能なパーティションを識別
- 使用可能なパーティションを、時間帯別にコール検索スペース内で定義
- これにより、指定の宛先に対する通話を特定の時間帯だけに許可

Q. ToD 機能を実装するために、パーティションまたはコール検索スペースにタイムスケジュールを割り当てるにはどうすればいいのでしょうか。

A. パーティションにタイムスケジュールを割り当てるには、以下の手順に従います。1) 特定の時間枠を設定します。2) 1つまたは複数の時間枠をタイムスケジュールに割り当てます。3) この時間枠をパーティションに割り当てます。4) パーティションをコール検索スペースに割り当てます。

Q. この機能を使用して、時間帯別にコールをルーティングすることはできますか。

A. はい。この機能では、時間帯別に異なる宛先に着信コールをルーティングするように設定できます。

Q. この機能を使用して、時間帯別に発信コールを制限することはできますか。

A. はい。デバイスのコール検索スペースに ToD パーティションを指定すると、このデバイスを、時間帯に応じて特定のコール機能しか実行できないように制限できます。

Q. この機能は、FAC などの他の機能と組み合わせて使用することもできますか。

A. はい。そのためには、タイムスケジュールをパーティションに割り当て、システム管理者が FAC などの機能を制御するためのコール検索スペースを作成します。たとえば、営業時間中にはユーザに国際電話番号の発信を許可し、営業時間外には FAC を入力させるようにすることもできます。

Q. ToD 機能は曜日または月日にも対応しますか。

A. はい。曜日（月曜から金曜までなど）や月日（12月25日には通話を禁止するなど）の指定もサポートされています。

Q. ToD 機能では、どのタイムゾーンが使用されますか。

A. システム管理者は、デバイスのタイムゾーンを割り当てることもできますし、特定のタイムゾーンを指定することもできます。

Cisco Unity User Integration

Q. Cisco Unity User Integration 機能とは何ですか。

A. Cisco Unity User Integration 機能は、ユーザビリティを拡張するための機能です。システム管理者はこの機能を使用すると、1人のユーザに対して電話機や Cisco Unity ボイス メールボックスを追加する作業を簡略化し、作業時間を短縮できます。

Q. Cisco Unity User Integration 機能はどのように動作しますか。

A. システム管理者が電話のディレクトリ番号を設定する際、Directory-Number Configuration ページにリンクが表示されます。このリンクを使用すると、Cisco Unity Administration ページに移動することなく、当該ユーザに対するボイス メールボックスを設定できます。

Q. システム管理者はこのリンクをクリックする際、Cisco Unity サーバの認証を受ける必要がありますか。

A. はい。ただし、ダイジェスト認証が使用されます。この認証では、ブラウザ ウィンドウが開かれている間であれば、認証を一度受けるだけで済みます。

Q. Cisco CallManager User Directory ページからこの機能にアクセスして、このページから Cisco Unity ボイス メールボックスを追加することはできますか。

A. はい。この機能は、Cisco CallManager Directory-Number Configuration ページまたは Cisco Unity Voice-Mail Configuration ページからアクセスできます。

ビデオの拡張

Q. Cisco CallManager 4.1 のビデオ機能はどのように拡張されていますか。

A. 拡張されたビデオ機能は次のとおりです。

- SCCP H.264 ビデオ コーデックのサポート
- Cisco VT Advantage 対応のミッドコール ビデオ — コールの両端が SCCP ビデオ エンドポイントである場合、コールは即座にビデオ コールになります。どちらか一方が H.323 エンドポイントである場合も、コールはビデオ コールになります。ただし、H.323 エンドポイントが着信チャンネルを拒否した場合、またはチャンネルをオープンしない場合には、ビデオ コールは単方向ビデオまたはビデオなしになります。
- Cisco IP/VC Version 3.6 plus 対応のビデオ表示モードおよび参加者情報
- ダイナミック H.323 アドレス処理 (E.164 アドレッシング)

Q. H.264 ビデオ コーデックとは何ですか。

A. H.264 は、一定の帯域幅で H.263 よりもはるかに高い品質を実現するビデオ コーデックです。

Q. H.264 はどのデバイスでサポートされますか。

A. H.264 は、クラスタ内 SCCP コールでのみサポートされます。SCCP H.264 をサポートするデバイスは次のとおりです。

- Tandberg SCCP Phone (550 および T1000)
- Cisco IP/VC 3.6 plus (Cisco IP/VC 3511 Multipoint Control Unit [MCU] および Cisco IP/VC 3540 シリーズ ゲートウェイ)

Q. Cisco CallManager の新たなビデオ機能を統合するために必要な Cisco IP/VC のバージョンはいくつですか。

A. Cisco IP/VC 3.6 plus です。

Q. テレビ会議の 2 つのモードである音声起動式と連続方式の違いは何ですか。

A. 音声起動式モードでは、ビデオは話者に従って表示されます。このモードは、Cisco CallManager 4.0 でサポートされていました。連続方式モードでは、ユーザは任意の会議参加者を選択し、現在の話者に関係なく、この参加者を表示できます。Cisco IP/VC 3.6 plus に含まれる MCU の SCCP バージョンは、この両方のテレビ会議モードをサポートしています。ビデオ表示モードには、VidMode と呼ばれるソフトキーを使用します。SCCP テレビ電話のユーザはこのキーを使用することで、着信ビデオを音声起動式または連続方式のモード間で切り替えることができます。

©2005 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問合せ先